

マンガピットで読めます /

これも学習マンガだ! 大人も学べるマンガ入門

第14回

マンガピットを運営する一般社団法人マンガナイトの連載です。

ジャンル：戦争

『石の花』

著者：坂口 尚
出版社：講談社



企画監修：山内康裕
(マンガナイト代表・「これも
学習マンガだ!」事務局長)
構成：松尾奈々絵(マンガナイト理事)

今年の5月、KADOKAWAグループが「今こそ戦争について、考えよう」と題し、戦争や平和に関連する書籍9作品を期間限定で無料配信しました(現在、無料配信は終了しています)。そのうちの1冊がこちらの『石の花』です。同作は、第二次世界大戦時のナチス・ドイツの侵攻を受けたユーゴスラビアを舞台にしたマンガで、1983年に雑誌『コミックトム』で連載が始まり、これまでに多くの出版社で新版として再版されてきた色褪せない力

を持つ作品です。作者の坂口尚さんは、虫プロに入社し『ジャングル大帝』では原画を担当したのちに漫画家になった方で、圧倒的な画力は思わず見入ってしまう美しさがあります。

ユーゴスラビアは、作中でも説明されているように、スロヴェニア、クロアチア、セルビア、モンテネグロ、マケドニアの5民族が住み、4つの言語があり、3つの宗教がある多民族国家で、物語はユーゴ

スラビアのスロベニア地方東部の村から始まります。住んでいた村をドイツ軍によって制圧され、ドイツ軍に敵対するパルチザン部隊に入った少年・クリロ。彼は否応なく戦争に身を投じる中で、戦争における「殺し合い」に疑問を抱くようになります。「平和は非現実的。幻想。子供のような夢」という言葉に對してもあらがいがい、そのような現実を肯定してしまうことこそ、戦争を起こす原因なのではないかと問題提起します。

この戦争への問いかけは、「マンガ」という物語だからこそ、響くとも言えるでしょう。淡々とした記録ではなく、作品を通じて少年クリロがどのような行動をして、どのように感情を抱いたのかが、マンガを読むことで追体験できるからです。どんな過酷な環境にいたのか、どのような葛藤があったのか——。今だからこそ手に取りたくなる作品です。



マンガピット!

Manga Edutainment

Supported by 日本 THE NIPPON 財団 FOUNDATION

「これも学習マンガだ!〜世界発見プロジェクト〜」に選出された作品を中心に学びにつながるマンガや学習マンガを楽しめる読書空間です。名作から近年のおすすめのマンガを約7000冊そろえました。かつてトキワ荘のあったエリアで、ゆっくりとマンガを楽しんでみませんか?

これも学習マンガだ!
Manga Edutainment

マンガナイト
BOOKS

